

令和7年度シラバス

教 科	科 目	単位数	履修学年・クラス
地歴公民	政治・経済	2	3－5～3－A

1. 学習の到達目標

1. 広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深化させる。
2. 現代の政治、経済、国際関係に関する興味・関心を引き出し、その客観的な理解をはかる。
3. 現代の政治・経済に関する諸課題に対する多様な見方・考え方を学び、その解決に向けて主体的に考える態度を養わせる。
4. 差別に対する国の関わりを通して、差別をなくしていかなければならないという意識を養う。

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 第1節 民主政治の基本原則 第2節 日本国憲法の基本原則 第3節 日本の政治機構 第4節 現代政治の特質と課題	・政治の役割と民主政治への道のりについて理解する。 ・ポピュリズムや「多数者の専制」の考え方を踏まえ、これからの民主主義はどうあるべきか話し合う。 ・基本的人権が自分の生活のどのような場面に関係しているか考察する。 ・日本と諸外国の行政の現状を比較し、日本では今後どのような行政改革を行うべきか話し合う。 ・戦後日本の政党政治の変遷について理解する。 ☆「基本的人権の尊重」を学ぶとともに、あらゆる差別を許さない気持ちを育てる。
2 学 期	第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治 第1節 国際政治のしくみ 第2節 複雑化する国際政治と日本 第2章 現代の国際政治 第1節 国民経済と国際経済 第2節 国際経済の現状と課題	・国際社会の特徴について、国内社会と比較して理解する。 ・国際連合が成立した背景と現在の課題について理解する。 ・第二次世界大戦後、日本はどのような過程を経て国際社会に復帰したのか考察する。 ・これからの日本の開発援助のあり方について話し合う。 ・EUの意思決定がどのように行われるか理解する。 ・米ソ（ロ）の二国間条約に着目し、軍備管理から軍縮への流れをまとめる。 ☆公害で苦しんでいた人々の人権を考えさせる。
3 学 期	第2章 現代の現代日本の経済 第1節 現代の資本主義経済 第2節 現代経済のしくみ 第3節 日本経済の発展と現状 第4節 福祉社会と日本経済の課題	・家計、企業、政府が行う経済活動について理解する。 ・なぜ物価変動によって得をする場合と損をする場合があるのか理解する。 ・「三種の神器」が急速に普及した時期の日本経済の状況について理解する。 ・日本の合計特殊出生率が回復しないのはなぜか、諸外国の取り組みを踏まえて話し合う。

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	定期試験（中間 期末）、平常点（ノート提出・宿題提出含む）による
------	----------------------------------

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	合意形成や社会参画に向け、国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題について考察する。	知識および技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	政治・経済（東京書籍）
副教材	要点マスター 政治・経済（東京書籍）